



# 夢に向かってまっすぐに

平成30年5月21日 (No. 10)



## 応援歌 泰山木 咲かんとす (草深昌子)



▲ 徒競走も全力で

5月12日に開催した運動会には、多くの皆様にご来校いただき、子供たちに熱い声援と温かい励ましをいただきまして、本当にありがとうございました。17年ぶりの赤白対抗で行った運動会では、子供たちの本気の姿が随所で見られました。運動会という節目の行事を機に、一段と子供たちが成長した様子を感じていただけたでしょうか。

今年度の運動会では、子供たちの本気を引き出す仕掛けがいくつかありました。赤白対

抗もその一つです。対抗にするにあたっては、職員の間でも様々な意見が出され議論となりました。特に本校は3学級の学年と4学級の学年があり、学級を単位とした色別のチーム編成ができず、意見が分かれました。学級を分断してチームを作ることは、一歩間違えば学級経営に影響を及ぼすこともあるため、なかなか思い切れないというのも正論です。

今年度、体育主任の星教諭は、運動会のねらいの中に「フェアプレーで競い合うこと」と「勝敗の結果に対する正しい態度を身に付けさせること」の二つを新たに設けました。競技ですから勝利にこだわり、結果として勝ち負けがついてしまいます。勝敗にだけこだわってしまえば、子供たちに不正行為、優越感や劣等感を助長することにつながってしまう恐れもあります。そうしないために、「チームの勝利のための努力を賞賛し、お互いの健闘をたたえ合う気持ちを教えてほしい」と語りました。この言葉と意思によって、職員は動き出します。「ならば体育で常に学級内で競い合っているように、学級を赤白の二つに分けて競い合っても、学級の結束が崩れることはない。逆にお互いに認め合うという良い方向に進んでいくことができる。」先生方が同じ方向を目指した瞬間だったと思います。教職員の本気は、子供たちの本気の姿につながります。徒競走では、順位を一つでも上げて得点を挙げたい！団体競技でも、力を一つに結集しようとする姿となって表れました。



▲ エール交換もさすがしく

児童会で考えた今年の運動会のスローガンは「なかまとともに 全力で！」当日の挨拶でも触れましたが、仲間には「励まし合い、支え合う仲間」と「競い合い、鍛え合う仲間」という意味が込められています。競技するときにはライバル同士ですが、試合が終わればノーサイド。味方も相手方もなく、お互いの健闘をたたえ合える心地良さを、子供たちも感じてくれていたらと願います。

表題の「泰山木」は、日本の樹木の中でも最大級の花を咲かせます。季語としては初夏で、花言葉は「真の輝き」だそうです。応援歌が聞こえる中、泰山木が大輪の花を咲かせようとする姿と子供たちの精一杯の姿が重なります。真の輝きは、勝敗を越えた先にある子供たちの心であってほしいと思います。

運動会では、ちょっとやろう会の皆様に万国旗を張っていただいたり、保護者の皆様にも後片付けを手伝っていただいたり、さらには、校庭整備や賞品係など様々な場面でお力添えをいただいたりしました。心から感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 「信頼」は、顔の見える関係から (家庭訪問へのご協力に感謝！)

家庭訪問期間になっています。子供たちへの指導は、保護者の皆様との信頼関係があって成り立つものです。そのためにも、まずは保護者の皆様と顔の見える関係でありたいと考え、短時間ではありますが家庭訪問をさせていただいております。担任から、「お仕事の時間を何とか調整して待っていてくださっていました。」「また職場に戻るとおっしやっているご家庭もありました。」という報告が聞かれました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご対応いただいていることが痛いほど伝わってきます。本当にありがとうございます。授業参観でご覧いただいた担任像やお子様からお聞きになっているイメージ、そして実際に話した印象は、いかがでしたでしょうか。PTA総会でもお話いたしました。お子様を真ん中に保護者と担任とが三人四脚で一緒に成長していければと思っています。お子様の成長を願う気持ちは、保護者の皆様も教職員も一緒です。しかし、進む方向や歩幅が違っては、三人四脚ではうまく進めなくなります。家庭訪問では、保護者の皆様から見たお子様の姿や配慮してほしいことなどをお伺いする方に比重をおいていますが、会話等から垣間見える担任の個性なども感じていただければ幸いです。この家庭訪問のために他の部分でも時間を割いてくださっていることを心に留めながら、ご家庭の皆様も含めた「チーム向陽台」の精神で、目標を共有していきたいと思っております。ご理解とご協力に心から感謝いたします。

「向小の森」では、今、ハマナスがきれいな花を咲かせています。休み時間に草花で冠を編み、頭に乘せている子供たちも見られます。普段からお世話してくださっている「育てよう会」の皆様にも感謝いたします。ありがとうございます。

